

⑥ 可茂地域	
<p>■ 該当市町村</p> <p>美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、兼山町</p>	<p>■ 区域</p> 
<p>■ 景観上の特性</p>	
<p>地形・自然</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央部から北部にかけては、茶畑や果樹園、東濃ヒノキの人工林が見られる丘陵部、山間部が広がる。</li> <li>南部の木曾川沿いには、可児盆地及び太田盆地の平地が広がる。</li> <li>飛水峡、蘇水峡等の溪谷美・ダム湖の大水面が見られる</li> </ul>	<p>土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山間部には、豊かな自然と融合した集落地が形成されている。</li> <li>南部に中山道が通っている。</li> <li>南部の丘陵部には、大規模な住宅団地が開発されている。</li> <li>南部の可児盆地及び太田盆地には国道や鉄道が通り、市街地を形成している。</li> <li>東海環状自動車道のインターチェンジが開設された。</li> </ul>
<p>軸線</p> <p>地域の骨格を形成する軸線として、次のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川：木曾川、飛驒川</li> <li>道路：東海環状自動車道、国道21号、41号、248号、256号、418号</li> <li>鉄道：JR高山本線、太多線、名鉄広見線、長良川鉄道</li> </ul>	

■景観構造図

可茂地域



- 山間エリア
- 谷・盆地エリア
- 河川
- 河川景観
- 鉄道
- 高速道路
- 国道
- 街道
- 自然公園
- 田園、群生地等、大規模開発地等
- 歴史・伝統文化的要素、その他の拠点等

■景観形成方針

①広がりのある木曽川の河川景観の保全

- ・木曽川は名勝や国定公園に指定されており、蘇水峡における渓谷や、日本ラインにおける奇岩などが美しく、周囲の緑豊かな山並みを背景とした広がりを感じさせる雄大な河川景観を形成している。
- ・木曽川沿いでの山並みを背景とした広がりのある河川景観の保全を図ることが必要である。

木曽川



②周囲の自然環境と一体となった飛騨川の河川景観の保全

- ・谷合いを流れる飛騨川は、国定公園に指定されている自然豊かな河川であり、飛水峡などの荒々しい岩肌の渓谷が随所で見られるなど、河川際まで迫った緑と一体となった美しい河川景観を形成している。
- ・この飛騨川沿いでの周囲の自然環境と一体となった河川景観の保全を図ることが必要である。

飛水峡



③丘陵部の自然環境に調和した住宅地の景観の形成

- ・丘陵・山間部では、果樹園、茶畑等の特徴的な丘陵地景観と緑豊かな山並み景観がみられる。
- ・南部の可児市の丘陵部では、桜ヶ丘ハイツ等の大規模な住宅団地等の開発がされている。
- ・山並みを形成する天然林の保全や斜面林の保護再生、敷地内外の緑化の促進等により、自然環境に調和した住宅地の景観の形成を図る必要がある。

桜ヶ丘ハイツ



④中山道沿いの歴史的なまち並みを活かした市街地景観の形成

- ・遠景に山並みを望む南部の市街地を中山道が通り、太田、伏見、御嶽の各宿を中心に旧太田宿脇本陣をはじめとする古いまち並みや寺社、史跡等の歴史的な景観が見られる。
- ・近年、建物の老朽化や建替えにより歴史的な景観の喪失が進んでいるため、これらを地域の個性として保全修復し、歴史的まち並みの保全と復元による市街地景観の形成を図ることが必要である。

中山道太田宿



⑤里山及び田園景観の保全

- ・可児市塩河、八百津町、東白川村等に広がる農用地や背景の丘陵地の緑と一体となった農村集落等が、里山及び田園景観を形成している。
- ・のどかな農村集落の雰囲気を残すまち並みや田園の保全を図ることにより、里山及び田園景観の保全を図る必要がある。

可児市塩河の里山及び田園景観



⑥中心市街地の景観の形成

- ・可児市や美濃加茂市の市役所や駅周辺地域等では、行政・文化施設や商業・業務施設が立地し、市街地景観を形成している。
- ・中心市街地としてふさわしい都市機能の集積と、周辺環境に調和した建築物の形態や意匠の誘導、歩車道の緑化等の整備により、良好な市街地景観の形成を図る必要がある。

可児市の市街地



⑦東海環状自動車道インターチェンジ周辺地区の景観の形成	
<ul style="list-style-type: none"><li>・東海環状自動車道美濃加茂インターチェンジや富加関インターチェンジ等の周辺では、開発による自然環境や住環境の悪化が懸念される。</li><li>・インターチェンジの周辺地区としての利便性を活かしつつ、周辺の自然環境等と調和した景観の形成を図ることが必要である。</li></ul>	<p>美濃加茂インターチェンジ周辺</p> 